CEOLIA
Leading in ENT

－医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。－

「効能・効果」、「用法・用量」及び「使用上の注意」改訂のお知らせ

処方箋医薬品

広範囲経口抗菌製剤
日本薬局方　レボフロキサシン錠

レボフロキサシン錠250mg「CEO」
レボフロキサシン錠500mg「CEO」

この度、標記製品の製造販売承認事項一部変更承認に基づき、「効能・効果」及び「用法・用量」を追加し、これに伴い「使用上の注意」を改訂いたしますので、お知らせ申し上げます。

本剤のご使用に際しましては、下記内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

2016年３月

製造販売元　大正薬品工業株式会社
発　売　元　セオリア ファーマ 株式会社

改訂内容（下線部改訂箇所）

改　訂　後	改　訂　前
【効能・効果】 〈適応菌種〉 本剤に感性のブドウ球菌属，レンサ球菌属，肺炎球菌，腸球菌属，淋菌，モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス，炭疽菌，結核菌，大腸菌，赤痢菌，サルモネラ属，チフス菌，パラチフス菌，シトロバクター属，クレブシエラ属，エンテロバクター属，セラチア属，プロテウス属，モルガネラ・モルガニー，プロビデンシア属，ペスト菌，コレラ菌，インフルエンザ菌，緑膿菌，アシネトバクター属，レジオネラ属，ブルセラ属，野兎病菌，カンピロバクター属，ペプトストレプトコッカス属，アクネ菌，Q熱リケッチア（コクシエラ・ブルネティ），トラコーマクラミジア（クラミジア・トラコマティス），肺炎クラミジア（クラミジア・ニューモニエ），肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ） 〈適応症〉 表在性皮膚感染症，深在性皮膚感染症，リンパ管・リンパ節炎，慢性膿皮症，ざ瘡（化膿性炎症を伴うもの），外傷・熱傷及び手術創等の二次感染，乳腺炎，肛門周囲膿瘍，咽頭・喉頭炎，扁桃炎（扁桃周囲炎，扁桃周囲膿瘍を含む），急性気管支炎，肺炎，慢性呼吸器病変の二次感染，膀胱炎，腎盂腎炎，前立腺炎（急性症，慢性症），精巣上体炎（副睾丸炎），尿道炎，子宮頸管炎，胆嚢炎，胆管炎，感染性腸炎，腸チフス，パラチフス，コレラ，バルトリン腺炎，子宮内感染，子宮付属器炎，涙嚢炎，麦粒腫，瞼板腺炎，外耳炎，中耳炎，副鼻腔炎，化膿性唾液腺炎，歯周組織炎，歯冠周囲炎，顎炎，炭疽，ブルセラ症，ペスト，野兎病，肺結核及びその他の結核症，Q熱	【効能・効果】 〈適応菌種〉 本剤に感性のブドウ球菌属，レンサ球菌属，肺炎球菌，腸球菌属，淋菌，モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス，炭疽菌，大腸菌，赤痢菌，サルモネラ属，チフス菌，パラチフス菌，シトロバクター属，クレブシエラ属，エンテロバクター属，セラチア属，プロテウス属，モルガネラ・モルガニー，プロビデンシア属，ペスト菌，コレラ菌，インフルエンザ菌，緑膿菌，アシネトバクター属，レジオネラ属，ブルセラ属，野兎病菌，カンピロバクター属，ペプトストレプトコッカス属，アクネ菌，Q熱リケッチア（コクシエラ・ブルネティ），トラコーマクラミジア（クラミジア・トラコマティス），肺炎クラミジア（クラミジア・ニューモニエ），肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ） 〈適応症〉 表在性皮膚感染症，深在性皮膚感染症，リンパ管・リンパ節炎，慢性膿皮症，ざ瘡（化膿性炎症を伴うもの），外傷・熱傷及び手術創等の二次感染，乳腺炎，肛門周囲膿瘍，咽頭・喉頭炎，扁桃炎（扁桃周囲炎，扁桃周囲膿瘍を含む），急性気管支炎，肺炎，慢性呼吸器病変の二次感染，膀胱炎，腎盂腎炎，前立腺炎（急性症，慢性症），精巣上体炎（副睾丸炎），尿道炎，子宮頸管炎，胆嚢炎，胆管炎，感染性腸炎，腸チフス，パラチフス，コレラ，バルトリン腺炎，子宮内感染，子宮付属器炎，涙嚢炎，麦粒腫，瞼板腺炎，外耳炎，中耳炎，副鼻腔炎，化膿性唾液腺炎，歯周組織炎，歯冠周囲炎，顎炎，炭疽，ブルセラ症，ペスト，野兎病，Q熱

（裏面につづく）

改　訂　後	改　訂　前
【用法・用量】 通常，成人にはレボフロキサシンとして１回500mgを１日１回経口投与する．なお，疾患・症状に応じて適宜減量する． 肺結核及びその他の結核症については，原則として他の抗結核薬と併用すること． 腸チフス，パラチフスについては，レボフロキサシンとして１回500mgを１日１回14日間経口投与する．	**【用法・用量】** 通常，成人にはレボフロキサシンとして１回500mgを１日１回経口投与する．なお，疾患・症状に応じて適宜減量する． 腸チフス，パラチフスについては，レボフロキサシンとして１回500mgを１日１回14日間経口投与する．
【使用上の注意】 **2. 重要な基本的注意** (1) 他の抗結核薬との併用により，重篤な肝障害があらわれることがあるので，併用する場合は定期的に肝機能検査を行うこと． (2) 意識障害等があらわれることがあるので，自動車の運転等，危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること．	**【使用上の注意】** **2. 重要な基本的注意** 意識障害等があらわれることがあるので，自動車の運転等，危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること．

「使用上の注意」等の全文は、改訂添付文書をご覧下さい。

お問い合わせ先
セオリア ファーマ 株式会社　メディカルインフォメーション室
〒103-0022　東京都中央区日本橋室町三丁目３番１号
CEOLIA　TEL 0120-72-1136（フリーコール　9:00～17:00／土・日・祭日は除く）